

平成25年度一般会計予算のあらまし

1 予算編成の基本

本町の財政状況は、長引く景気低迷の影響から町税収入の本格的な回復が遅れる一方、社会保障関係経費である扶助費の歳出が増加するなど、引き続き厳しい状況下にあるが、住民一人ひとりが未来に夢と希望を持ち、幸せを実感できるまちづくりの実現を図り、住民生活や地域の活力に結びつけていくため、国の緊急経済対策等に機敏に対応し、防災・安全対策を中心とした平成24年度3月補正予算と、未来の活力創造につながる投資的な経費に財源を重点配分した平成25年度当初予算とを連動させた、切れ目のない「13ヶ月予算」として積極型の予算を編成。

2 予算規模

▼25年度当初予算	38億6,900万円	(対前年度比 1億1,000万円 (2.9%) 増)
▼24年度3月補正	4億8,670万円	
13ヶ月予算	43億5,570万円	(対前年度比 5億9,670万円 (15.9%) 増)

3 収支見通し

(1) 歳入

一般財源総額の減少 $\Delta 5,338$ 万円減 (対前年度比 $\Delta 1.9\%$ 減)

○町税収入の増 $3,192$ 万円増 (対前年度比 2.1% 増)

15億2,085万円 (㊤ 14億8,893万円)

□個人町民税の減	$\Delta 375$ 万円 ($\Delta 0.9\%$ 減)
□法人町民税の増	891 万円 (6.7% 増)
□固定資産税の増	2,137 万円 (2.6% 増)

○地方交付税の減 $\Delta 8,000$ 万円減 (対前年度比 $\Delta 8.9\%$ 減)

8億2,000万円 (㊤ 9億円)

□普通交付税の減 $\Delta 8,000$ 万円

・基準財政収入額の増及び国の給与削減を前提とした削減等による

○臨時財政対策債の増 950 万円増 (対前年度比 3.8% 増)

2億6,040万円 (㊤ 2億5,090万円)

○地方譲与税、各種交付金の減 $\Delta 1,480$ 万円減 (対前年度比 $\Delta 6.5\%$ 減)

2億1,190万円 (㊤ 2億2,670万円)

□地方譲与税の減	$\Delta 210$ 万円
□ゴルフ場利用税交付金の減	$\Delta 260$ 万円
□自動車取得税交付金の減	$\Delta 290$ 万円
□地方特例交付金の減	$\Delta 860$ 万円

(2) 歳 出

歳出経費の増加 1 億 1,000 万円増 (対前年度比 2.9%増)

① 義務的経費の推移

○人件費 311 万円増 (対前年度比 0.3%増)

9 億 4,674 万円 (㉔ 9 億 4,363 万円)

□保育士の増員

○扶助費 1,404 万円増 (対前年度比 3.1%増)

4 億 7,114 万円 (㉔ 4 億 5,710 万円)

□障がい者自立支援給付の増 2,782 万円

□児童手当の減 Δ 1,504 万円

○公債費 Δ 4,066 万円減 (対前年度比 Δ 9.0%減)

4 億 1,019 万円 (㉔ 4 億 5,085 万円)

□学校給食共同調理場建設事業債の償還終了等

* 地方債残高 ㉕41 億 9,797 万円 ㉔41 億 9,859 万円

※㉔㉕残高については見込額

② その他経費等の推移

○普通建設事業費 1 億 2,693 万円増 (対前年度比 64.0%増)

3 億 2,522 万円 (㉔ 1 億 9,829 万円)

□救急自動車整備事業、集落内生活道路改良事業、保育所施設機能充実事業、
奥山田ふれあい空間創造事業など

○繰出金 2,785 万円増 (対前年度比 6.4%増)

4 億 6,070 万円 (㉔ 4 億 3,285 万円)

□国民健康保険特別会計繰出金の増 388 万円

□介護保険特別会計繰出金の増 235 万円

□公共下水道事業特別会計繰出金の増 2,759 万円

○物件費 3,418 万円増 (対前年度比 6.1%増)

5 億 9,861 万円 (㉔ 5 億 6,443 万円)

□特別加配保育士、小中一貫教育臨時教員の増員に伴う賃金の増など

○災害復旧費 Δ 4,000 万円減 (対前年度比 Δ 77.4%減)

1,165 万円 (㉔ 5,165 万円)

□農地農業用施設災害復旧費の減

4 予算要求時における財源不足

収支不足額 △3 億 2,200 万円

5 財源対策

内部管理経費の見直し等の歳出削減を図るとともに、国・府の交付金や財政調整基金を活用することにより、歳入減を補い、重点プロジェクトを推進する新規・拡充事業等に必要な財源を捻出。

(1) 財政改革の取組

持続可能な健全財政の確立のため、全庁一丸となって、業務の選択と集中や経常経費の見直し等の財政改革を推進。

○削減等総額 △6,300 万円

- 不急事業の見送り △170 万円
- 事業内容の精査・見直し △4,000 万円
- 施設運営経費の精査・見直し △1,280 万円
- 各種事務経費の精査・見直し △850 万円

(2) 財源の確保

- 国の元気臨時交付金（緊急経済対策） 5,000 万円
- 京都府みらい戦略一括交付金 3,900 万円
- 財政調整基金の活用 1 億 7,000 万円

〈参考〉

[地方債残高]

(単位：万円)

	H25 (見込)	H24 (見込)	H23	H22
地方債残高総額(a)	419,797	419,859	400,778	407,289
臨時財政対策債(b)	201,771	188,133	175,966	163,113
実質残高(a-b)	218,026	231,726	224,812	244,176

※町の負債である事業債（実質）残高は減少傾向にあるが、国より交付される地方交付税の代替財源である臨時財政対策債の発行が増加。

[基金残高]

(単位：万円)

	H25 (見込)	H24 (見込)	H23	H22
基金総額	245,207	267,534	263,874	253,636
うち財政調整基金	126,583	143,583	136,269	125,948

6 財政対策で捻出した財源を重点プロジェクト推進事業に重点配分

重点プロジェクト新規・拡充事業

25事業 6億1,437万円（13ヶ月予算ベース）

●6つの重点プロジェクト

新規 ・ 拡充 25 事業	⇒	安心・安全プロジェクト	4億137万円
		・救急自動車整備事業 など5事業	
	⇒	地域福祉対策プロジェクト	886万円
		・保育所施設機能充実事業 など4事業	
	⇒	健康長寿プロジェクト	31万円
		・料理で学ぶ食の健康づくり事業 など2事業	
⇒	子どもを育むプロジェクト	6,023万円	
	・小中一貫教育推進事業 など6事業		
⇒	産業・観光プロジェクト	1億3,770万円	
	・宇治田原山手線整備促進事業 など6事業		
⇒	環境にやさしいプロジェクト	590万円	
	・電気自動車普及促進事業 など2事業		

平成25年度当初予算 38億6,900万円

平成24年度3月補正予算（前倒し予算） 4億8,670万円

13ヶ月予算 43億5,570万円

『希望ある未来を創造する宇治田原予算』